

令和6年度 瀬戸内海環境保全トレーニングプログラム in 愛媛 開催報告

公益社団法人 瀬戸内海環境保全協会

1 目的

瀬戸内海の環境保全に係る事務を担当する正会員（府県・政令指定都市・中核市や、環境保全の実践活動を行っている環境衛生団体・漁業団体の職員等）ならびに賛助会員で、新たに瀬戸内海の環境保全業務に従事する者を対象に、瀬戸内法や環境技術等、専門的知識を習得することを目的として、研修を行っています。

2 研修期間、研修場所等

- (1) 研修期間 令和6年 10月21日（月）～10月23日（水）
- (2) 研修場所 今治市民会館（愛媛県今治市別宮町1丁目4番地1）
- (3) 視察場所 大島（亀老山展望台公園・来島海峡潮流体験）、
小島、来島海峡海上交通センター

3 参加人数 研修員 23名（正会員（自治体））、聴講者 3名

4 講義

- ◆「瀬戸内海の海洋環境総論～豊かな海づくりのために～」
広島大学 名誉教授 松田 治 氏
- ◆「瀬戸内海における環境政策」
環境省水・大気環境局海洋環境課海域環境管理室 室長補佐(統括) 森川 政人 氏
- ◆「プラスチック汚染の実態解明に向けた市民科学の可能性」
同志社大学経済学部 准教授 原田 禎夫 氏
- ◆ 現地視察「瀬戸内海のエコツーリズムで学ぶ～来島海峡の歴史と魅力～」
(一社)瀬戸内海エコツーリズム協議会
講義「来島海峡について」：代表理事 上嶋 英機 氏
案内：協議会事務局、NPO 法人自然環境ネットワーク SAREN、今治地方観光ボランティアガイドの会
- ◆「瀬戸内海の環境変動と生態系の応答」
愛媛大学先端研究院 URA・准教授 吉江 直樹 氏
- ◆「愛媛県における水環境保全の取り組み」
愛媛県県民環境部環境局環境・ゼロカーボン推進課大気・水環境グループ
担当係長 吉留 竜仁 氏



講義(松田 治 氏)

5 ワークショップ

「景観保全、海洋ごみ対策とツーリズム」について、討議を行いました。



視 察 （亀老展望台公園）



（来島海峡海上交通センター）



ワークショップ

令和6年度賛助会員研修会 開催報告

公益社団法人 瀬戸内海環境保全協会

当協会の賛助会員であり、ともに瀬戸内海の環境保全に取り組んでいる企業間のネットワークづくりの場として、企業ニーズを踏まえながら研修会を実施しています。研修内容は、前回の研修会参加者へのアンケート結果を踏まえ、賛助会員部会で検討を行い決定しました。

1 第1回研修会（見学）

- 日 時：令和6年10月25日（金）13:00～16:00
- 研修先・内容
 - ① 須磨ホール（研修会）
 - ・「神戸須磨シーワールドの環境的な取り組みについて」
堀江 渉 氏（株式会社竹中工務店）
 - ・「神戸須磨シーワールドのアマモ展示について」
大澤 彰久 氏（神戸須磨シーワールド）
 - ※ 当協会HPの会員専用ページに講演動画を掲載（令和6年11月1日～12月31日）
 - ② 須磨海浜公園内（見学）
 - ・ スマートゴミ箱”Suma GO”
 - ③ 神戸須磨シーワールド（見学）
 - ・ バックヤード：海水管理施設
 - ・ アクアライブ館：アマモ水槽、イカナゴの常設展示等
- 参加人数：35名



堀江 渉 氏



大澤 彰久 氏



スマートゴミ箱”Suma GO”



日本最大級のアマモ水槽

2 第2回研修会（座学）

- テーマ：令和の里海づくりについて
- 日時：令和7年1月28日（火） 10:00～12:00
- 場所：スペースアルファ三宮 大会議室
- 開催方式：Web参加が可能なハイブリッド方式
- 内容

基調講演

- 「令和の里海づくりについて」

森川 政人 氏（環境省 水・大気環境局海域環境管理室 室長補佐）

事例発表

- 「磯焼け対策（アイゴ捕獲）による好循環なビジネスモデルの確立」

中島 均 氏（防府市藻場造成による豊かな里海づくり協議会）

- 「海の中に森をつくる～持続可能な里海づくり～」

神田 優 氏（おおつき里海づくり協議 NPO 法人黒潮実感センター理事長）

- 「おらが海を町の財産に～官民協働で町の産業を活性化する持続可能な藻場再生活動～」

大場 理幹 氏（NPO 法人おおつちのあそび 事務局長）

- 参加人数：97名（会場参加 12名、Web参加 85名）



森川 政人 氏



中島 均 氏



神田 優 氏



大場 理幹 氏

令和6年度 瀬戸内海の環境保全・創造研究ワークショップ 開催報告

特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議

瀬戸内海研究会議では、産・官・学・民による瀬戸内海に関する学際的な研究や事例発表を行い、会員相互、一般市民との意見交換の場とするため、ワークショップを開催しています。令和6年度は、下記のとおり開催しました。

1 開催概要

- 日 時：令和6年12月13日（金） 12:30～17:00
- 会 場：三ノ宮研修センター（神戸市中央区八幡通4丁目2-12 FRⅡビル）
- 出席者：184名（会場参加23名、Web参加161名）
- 開催方式：Web参加が可能なハイブリッド方式
- 主 催：特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議
- 後 援：公益社団法人瀬戸内海環境保全協会、瀬戸内海環境保全知事・市長会議、ひょうご環境保全連絡会

2 講演

- 第1部 令和4～6年度「瀬戸内海の環境保全・創造に係る研究助成」報告
 - ① 瀬戸内海における栄養塩濃度の時空間変動に伴う低次生態系応答に関する研究
吉江 直樹（愛媛大学 先端研究院先端研究高度支援室 リサーチ・アドミニストレーター）
 - ② 海洋プラスチック汚染の防止に向けた陸域におけるプラスチックごみの散乱状況の把握と流出防止策の研究
原田 禎夫（同志社大学 経済学部 准教授）
 - ③ 播磨灘南部を対象とした海洋プラスチックごみの起源と分布に関する研究
石塚 正秀（香川大学 創造工学部 教授）
- 第2部 「特定海域の栄養塩類管理に向けた評価手法開発」（環境省環境研究総合推進費）
 - ① 下水処理場の季節別運転が海域水質に及ぼす影響評価
西嶋 渉（広島大学 環境安全センター 教授）
 - ② エンドメンバー分析による海域の水質への下水処理場放流水の寄与の評価
中井 智司（広島大学 大学院先進理工系科学研究科 教授）
 - ③ 広湾の季節別運転が植物プランクトンに及ぼす影響と効果
越川 海（国立環境研究所 地域環境保全領域 海域環境研究室 室長）
 - ④ 瀬戸内海・広湾の栄養塩類管理を対象とした影響評価モデルの開発と数値実験
東 博紀（国立環境研究所 地域環境保全領域 海域環境研究室 上級主幹研究員）